



02 ケースメント窓の開閉が重くなった場合の直し方

ケースメント窓の開閉レールにホコリがたまったり、レールに塗ってあるグリスが劣化すると、開閉がスムーズにいかなくなる場合があります。そんなときはケースメント窓の網戸をはずしてから開閉レールをメンテナンスしましょう。脚立をお使いの場合は十分に注意して行いましょう。

用意するもの

軍手、雑巾、グリス、
ヘラ、ブラシ、
脚立

1 ケースメント窓用網戸のはずし方 ※様々な網戸タイプがありますので、取扱説明書にそって脱着ください。



網戸枠の上下左右4箇所についている持ち手つまみを「カチッ」と音がするまで引きます。

持ち手つまみを持ったまま網戸枠を左にスライドさせます。



そのまま室外側へ網戸を少し出します。網戸枠を両手で持ちはずした後は、ケースメント窓開口部より網戸を室内側へ入れ込みます。はずした網戸が汚れている場合は、水洗い、または中性洗剤で洗いきれよく乾かしておきましょう。

2 ケースメント窓の開閉が重くなった場合の直し方



最初に下の開閉レールをメンテナンスします。



窓枠にたまったホコリやゴミをブラシで掃除します。



開閉レール部分についているホコリや古いグリスを雑巾で拭き取ります。



ホームセンター等に売っているグリスを少量ヘラでとりず。



開閉レール部分全体にグリスを塗ります。



同様にケースメント窓上部の開閉レールもメンテナンスします。脚立をご使用の場合は十分に注意してください。



開閉の具合を確認します。動きがスムーズになればメンテナンス完了です。網戸のはずし方の逆手順で網戸を取り付けてください。取り付け後は、網戸の左右位置を均等にし、持ち手つまみを押し込み確実にロックしてください。